

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(山梨県 平成30年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メ ニュー ① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績① (対象作物・畜種等名)②	メ ニュー ② 成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
			計画時(平成27年)	1年後(平成28年)	2年後(平成29年)	目標値(平成29年)	達成率			計画時(平成27年)	1年後(平成28年)	2年後(平成29年)	目標値(平成29年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他					
山梨市	フルーツ山梨農業協同組合	果樹(モモ、ブドウ、加工柿)	輸出向け出荷量の増加割合: 48.4%増加 輸出量 7,409.1kg うちモモ: 11,000kg	輸出量: 9,500kg うちモモ: 3,647kg ブドウ: 4,753kg 加工柿: 1,100kg 合計: 9,500kg	輸出量: 21,404kg うちモモ: 11,409kg ブドウ: 9,228kg 加工柿: 767kg 合計: 21,404kg	輸出量: 11,000kg うちモモ: 4,300kg ブドウ: 6,100kg 加工柿: 600kg 合計: 11,000kg	389.7%	輸出向け出荷量の増加割合が188.9%増加した	果樹(モモ、ブドウ、加工柿)	全出荷量に占める契約取引の割合: 39.8%→55.5%	総出荷量 315,449.8kg うちモモ: 123,450kg ブドウ: 191,501.3kg 加工柿: 498.5kg 契約取引数量: 125,701kg 全出荷に占める契約取引の割合: 39.8%	総出荷量 305,434kg うちモモ: 147.4t ブドウ: 156.8t 加工柿: 1.2t 契約取引数量: 234,018kg 全出荷に占める契約取引の割合: 76.6%	総出荷量 332,851kg うちモモ: 142.1t ブドウ: 189.6t 加工柿: 1.2t 契約取引数量: 242,044kg 全出荷に占める契約取引の割合: 72.7%	総出荷量 330,000kg うちモモ: 128.4t ブドウ: 201t 加工柿: 0.6t 契約取引数量: 183,150kg 全出荷に占める契約取引の割合: 55.5%	209.5%	全出荷量に占める契約取引の割合が32.9%増加した	集出荷貯蔵施設 選果設備もも1条 ブドウ1レーン (処理量330t) 検品作業室2棟(計100㎡) 保冷施設2棟(計20㎡)	53,109,000	24,587,000	0	0	28,522,000	平成28年8月15日	JAへの新規出荷者数の増加により、出荷量が増加した。海外向け出荷量に係る目標及び契約取引割合の増加に係る目標は、ともに達成した。	契約取引量、及び海外向け出荷量ともに順調に伸びることができ、目標を上回る成果を得ることができた。	
笛吹市	フルーツ山梨農業協同組合	果樹(モモ)	輸出向け出荷量の増加割合: 40.5%増加 輸出量 11,025kg	実績未発現	輸出量 49,400g	輸出量 15,500g	857.5%	輸出向け出荷量の増加割合が348.1%増加した	果樹(ブドウ)	当該品目の全出荷量に占めるブランド品の割合の増加: 9ポイント増加 全出荷量に占めるブランド品の割合: 38.1%	総出荷量: 712.7t うちブランド品「風雅香桃」の出荷量: 271.2t 全出荷量に占めるブランド品の割合: 38.1%	実績未発現	総出荷量: 727.3t うちブランド品「風雅香桃」の出荷量: 323.8t 全出荷量に占めるブランド品の割合: 44.5%	総出荷量: 900.0t うちブランド品「風雅香桃」の出荷量: 423.9t 全出荷量に占めるブランド品の割合: 47.1%	71.1%	全出荷量に占めるブランド品の割合が6.4%増加した	透過式光センサー選果機 (2条1系列、1条1系列) 光センサー2台 (処理量900t)	70,637,400	32,702,000	0	0	37,935,400	平成29年3月31日	春先の小玉果、収穫期の高温の影響による果実の軟化、落下によるロス果が発生し、ブランド率の目標が達成できなかった。	海外向け出荷量は順調に伸ばすことができ、目標を大きく上回る成果を得られたが、全体的に天候不順の影響により、ブランド率は目標を下回る結果となった。今後は栽培管理指導等を徹底し、天候不順等への早めの対応に努め、目標を達成できるよう指導していく。	
笛吹市	笛吹農業協同組合	果樹(ブドウ)	輸出向け出荷量の増加割合: 42%増加 輸出量 5,209kg	実績未発現	輸出量 16,027kg	輸出量 7,400kg	493.7%	輸出向け出荷量の増加割合が207.7%増加した	果樹(ブドウ)	全出荷量に占める契約取引の割合: 15.2ポイント増加 総出荷量: 1,510.9t 契約取引数量: 562.6t 契約取引の割合: 37.2%	実績未発現	総出荷量: 1,606.9t 契約取引数量: 897.2t 契約取引の割合: 55.8%	目標出荷量: 1,600.0t 契約取引数量: 839.7t 契約取引の割合: 52.5%	121.6%	全出荷量に占める契約取引の割合が18.6%増加した	集出荷貯蔵施設増築 (341.89㎡、うち検品作業室49.43㎡) 選果設備(1レーン) 保冷施設(1棟、98.94㎡)	139,438,395	64,554,000	0	0	74,884,395	平成29年3月31日	海外向け出荷量に係る目標及び契約取引割合の増加に係る目標は、ともに達成した。	契約取引量、及び海外向け出荷量ともに順調に伸びることができ、目標を上回る成果を得ることができた。		

都道府県平均達成率 95.2% 総合所見  
・笛吹農業協同組合(一宮北共選所)及びフルーツ山梨農業協同組合(後屋敷共選所)の取組については、目標を大きく上回る成果が得られた。  
・フルーツ山梨農業協同組合(春日居共選所)の取組については、ブランド率の増加に係る目標を達成することができなかったが、系統外出荷者の勧誘・取り込みにより総出荷量の増加を図り、さらに栽培管理指導の徹底により高品質果実の生産を行いブランド品に向けた出荷量の確保を行うことで目標達成は可能であると考えられるため、引き続き各指導機関と連携し、適切な指導を行っていく。

- (注) 1 別紙様式1号の2の1に準じて作成すること。  
2 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
3 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
4 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
5 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。